平成30年度の教育活動等に対する学校評価書

平成31年3月14日

学校法人大石寺学園上野幼稚園長　吉野　友勝

学校法人大石寺学園上野幼稚園学校関係者評価委員長　清　信昭

１　幼稚園の教育目標

上野幼稚園は、教育基本法の精神に則り、学校教育法に従い、幼児を保育し、適当な環境を与えて宗教情操の涵養と健全な心身の発達を助長することを目的とする。

本園ではめざす幼児像として

「健やかな体と豊かな心を育てる」ことを目指し、具体的に次の5項目を掲げる

１．丈夫な体を持つ子どもに

２．感謝の心、思いやりのあるやさしい心を持つ子どもに

３．豊かな自己表現ができる、創造性を持つ子どもに

４．頑張る心、辛抱強い心を持つ子どもに

５．よく聞き、よく見、よく考えることができる子どもに

２　本年度の重点目標（学校評価の具体的な目標や計画）

評価項目に沿って自己点検、自己評価を実施することによって、教師自らが客観的に自園を見る目を養い、教育内容の改善に主体的に取り組んでいくことを重点項目とする。

３　**自己評価結果とそれに対する**学校関係者評価結果

（※評価点は、Ａ（十分に成果があった）・Ｂ（成果があった）・Ｃ（少し成果があった）、Ｄ（成果がなかった）の段階で表すこと。）

評価項目	自己評価		学校関係者評価委員会	
	評価点	幼稚園としての反省と改善策	評価点	意見
・教育計画は、子どもの実態を的確につかみ、幼児の発達に即した指導が工夫され、具体的な手立てが講じられている。	A	毎年、教育課程を見直し、月案に生かしている。 学年間の差が出ないよう、教務・副園長・園長が確認している。 学年色・特色に合わせた柔軟な対応、手立てがなされている。	A	子どもに合わせた具体的な目標設定が行われていると感じます。
・園がめざす幼児の姿を具体的にイメージできる。	A	目の届く所に掲示してあり意識しやすい。 日常的に細かな指導・工夫ができている。	A	細かな指導のおかげで、規則正しい習慣を身に付けられていると感じます。
・子どもの良さを認めて評価しようとしている。	A	年齢・子どもに合わせ、結果の良し悪しでなく、やりきったことをほめている。	A	伸び伸び園生活を送る姿から容易に想像できる。
・遊びを通して工夫したり、協力したりする姿が見られる。また、遊びを通しての総合的な指導ができている。	B	思いきり遊べる時間確保に工夫が必要。 遊びの発展・形態を常に考える必要がある。	B	現代の園以外の環境を鑑みて難しい環境の中、園長を先頭に教職員一丸となり素朴な中にもぬくもりのある工夫が垣間見られる。
・規則正しい生活習慣の定着に向けての指導を行う。	B	無理強いせず、繰り返し声をかけ意識化し指導しているが、家庭の前向きな協力がないと困難。	A	園での積極的な指導があり生活習慣の進歩が感じられる。

・全職員が年に 1 回以上公開保育を参観し、研修する。	A	自分の保育の見直しができる。お互い刺激し合い高めあえる	A	公開保育の場においての真剣な相互研鑽を感じます。
・各研修会や研究会に積極的に参加して職員に資料提供をする。	A	内容の共通理解ができる。他園の様子を知ることができる。他園と意見交換できるともっと良い。	A	外部研修は視野を広げる為にはとても重要なので、今後も積極的な参加をお願いします。
・一人一人の幼児をよく観察するように心がけている。	A	常に注意して観察し、小さな姿も見逃さないよう心掛けている。 手のかかる子に集中しすぎてしまう。	A	一人一人に合った接し方が必要な中、先生方は子どもたち全員に目を配り、的確な対応ができていると思います。
・教員間の協力的な指導ができている。	B	概ねできている。時間的余裕があればもっとよい。	A	全体を通し、教育指針が教師に浸透しており、成果を上げているように感じた。
・保護者の実情や要望による預かり保育ができている。	A	異年齢児の交流の場になっている。 要望に応えすぎると負担が大きくなる。 折り合いをつけることも大事。	A	それぞれの家庭の事情もあるが、今まで通り公平の立場で、受け入れすぎず行って行って下さい。
・月のよていや学年だよりの発行など、情報を発信している。 ・情報発信手段として、ホームページを活用するなど、広く周知するための工夫をしている。	B	手書きで温かみがあり、きめ細かい発信ができている。 ホームページは、時間的余裕がなく更新が遅れたり、きめ細かさに欠ける。	A	学年だよりの手書きは、受け手として温かみを感じられる為、継続して下さい。 ホームページは担当を固定せず当番制での分担も考慮。
･季節の行事や遠足、保育参観の実施状況は、より活発な取り組みになっているか。	A	当日だけでなく、その前後の取組が生きている。 季節に合ったものになっている。 園や子どもの様子を直接知る機会となっており、連携を深める場ともなっている。	A	親としても、行事は子どもの成長を感じられるとても大切な物なので、今後も引き続き頑張って下さい。